

緑が丘だより

2020年11月2日(月)
綾川町立綾上中学校 第8号

【学校教育目標】： 明るい未来を創造する 心豊かでたくましい生徒の育成

(<https://www.edu.ayagawa.ed.jp/ayakami-j/>)



「相手の気持ちを考える」とは



11月のスタートとなる今朝の全校朝礼では、今日から始まる人権月間に関するお話をしました。12月11日(金)の人権集会に向けた各クラスの取り組みが今日から始まります。今年度の人権月間のテーマは「相手の気持ちを大切にできるハートフル綾中生」です。そこで、今朝はそのテーマについて考えてみました。

「相手の気持ちを大切にできる」ことについて、「相手の気持ちになる」とか「相手の気持ちを考える」など様々な表現があります。しかし、ドラえもののひみつ道具に「さとりヘルメット」や「読心ルーペ」があるのは、「相手の気持ちがわかる」ということは現実的には不可能だからではないかと思うのです。逆に、「相手の気持ちがわかる」と言い切ることは非常に危険なのではないかとも思うのです。また同じように「相手の気持ちになって」という表現もよく耳にしますが、実際はかなり難しいことではないでしょうか。例えば、「相手の気持ちになって、自分ならこうするから相手もそうするだろう」といった考え方には疑問が浮かんでしまいます。



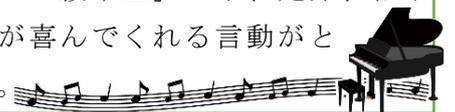
【シューマン】

ドイツの作曲家シューマンが作曲した「詩人の恋」という歌曲集があります。全16曲からなる歌曲ですが、前半の1～6番は愛の喜びについて、7～14番は失恋の悲しみが、15番と16番は過ぎ去った愛を皮肉るように歌われます。その中に「Ich grolle nicht」という曲があります。長調(明るい曲)で激しい曲調で歌われるので、一瞬明るい歌のように聞こえるのですが、曲名は「僕は恨まない」で7番目の曲となるこの曲は、まさに失恋の始まりの曲なのです。まずは聴いてみてください。曲名を知らずに聴くと、失恋した若者が「僕は恨まない！たとえ心臓が張り裂けようとも！」と歌う心の痛みをすぐには気づけないのではないのでしょうか。聴けば聴くほどに、微妙な音楽の変化からこの主人公の気持ちが徐々に感じられるようになるのですが、第一印象の長調(明るい曲)という表面的な特徴だけで判断してしまうと、この主人公(相手)の気持ちには気づけないままとなってしまいます。



最近、LINEやメールなど文字によるコミュニケーションが盛んに行われていますが、文字から気持ちがうまく伝わらず、誤解されたり、誤解してしまったりすることも多いのではないのでしょうか？その原因の一つは、文字だけのコミュニケーションには、気持ちが伝わる大切な情報が欠けているためだと思うのです。そこで、文字によるトラブル解決には、実際に相手と顔を合わせて、相手を見ながら直接話すことが大事とも言われています。つまり、「相手の気持ちを考える」時に大切なことは、文字の意味だけ捉えるのではなく、相手の仕草や表情をしっかりと見て、その口調などから「相手の気持ちを察する」、「相手の気持ちを想像する」ことが大事だということなのです。

今日からの人権月間のテーマ「相手の気持ちを大切にできるハートフル綾中生」の下、是非、相手の経験や性格を考えて、相手をしっかりと見て、察してあげて、相手が喜んでくれる言動がとれるような綾中生になることをめざしてもらいたいと思っています。





新しいかたちの「青春満祭」の開催！



新型コロナウイルス感染症予防のために、内容を大きく変更した校内文化祭「青春満祭」が10月16日(金)に開催されました。3年生にとっては中学校最後の行事となるにもかかわらず、今年の「青春満祭」はメインの合唱コンクールができず残念な気持ちでいっぱいになっていたのですが、感染症対策に配慮し、それに代わるものとして「ボディパーカッション」に取り組みました。「ボディパーカッション」とは手拍子や足踏み、あるいは体をたたいてリズムをきざみ、その重なりによって表現する音楽のことです。3年生は3つから4つのパートに分かれて、自分の体を楽器にして演奏しました。それぞれのパートが追いかけて合ったり、一体となったりしながら強弱の変化や視覚的な効果も配慮しながら練習を重ねました。文化祭当日の演奏はいかがでしたか？また、選択AS学習の箏やダンスの発表も行われ、短い時間でしたが充実した時間となりました。

また、同時に開催された展覧会の部も、熱のこもった作品が多く出品されていました。今年度は一試行として「いいねシール」を活用して、みんなで友だちの作品を称賛しました。



【美しい華の音色を堪能】



【GENKI & PRINCE のダンス】



【3年1組】



【3年2組】



【いいねシールで称賛！】



後期生徒会がスタートしました！



本校における「青春満祭」は、生徒会にとって新旧役員が引き継ぎを行う行事となっています。その当日は、旧役員が中心に運営する開会式でスタートし、プログラム中で「新生徒会役員任命式」や「新旧生徒会役員交代式」が行われ、旧役員の労をねぎらい、新役員への期待を込めた拍手が体育館に響きました。閉会式は新役員が中心となって運営し、閉会となりました。



【新旧役員で文化祭を運営】



【開会は旧会長から挨拶】



【新役員に任命書を】



【交代式で新旧役員挨拶】



【新会長から閉会挨拶】



廃品回収、ありがとうございました！



10月31日(土)は、本校恒例のPTAと全校生徒による廃品回収でした。晴天にめぐまれた当日、校区の各地区から集められた紙類、布類、びん類等の廃品で運動場に準備したトラックの荷台がいっぱいになりました。多くの方々のご協力ありがとうございました。収益等の報告は、各自治会への御礼のプリント及び来年度のPTA総会でさせていただきます。よろしくお祈りします。



【軽トラが集まります】



【順番に廃品を降ろして】



【段ボールはプレスカー車へ】



【古新聞は大型トラックへ】



【終了後の集会】



11月の主な行事予定



11日(水) 第4回「学習の診断」(3年)

19日(木) 屋島体験学習(1年)

12日(木) 第2回高校説明会(3年)

25日(水)～27日(金) 2学期末テスト

14日(土) 綾歌郡教育文化祭展覧会(宇多津北小)

